

環境首都水俣アピール推進事業

平成25年度補正予算額 351百万円

本年10月に、水銀に関する水俣条約外交会議が熊本・水俣で開催された。世界139か国から閣僚を含む1,000人以上の参加者が水俣の地を訪れ、その様子が国内外に発信されたことにより、水俣は、「公害の被害からの環境再生」のシンボルとして、また美しくのどかな日本の一地方都市として世界に知れわたった。

「公害の被害からの環境再生」のシンボルとして世界に知れわたった水俣の魅力を一層高め、地域を活性化（雇用創出）するとともに、環境首都水俣のブランド化を図り、世界から一層多くの人に訪れてもらうことを目指す。

水俣駅リニューアル

肥薩おれんじ鉄道水俣駅舎を、国内外からの観光客を迎える玄関口に相応しいものにリニューアル

- ただの通過点ではなく、楽しく休憩・交流できるスペースや仕掛けを創意工夫
- 環境負荷低減やバリアフリーを確保
- 地元の伝統工芸などを調度品で活用 等



湯の鶴温泉保健センターリニューアル

地元の名湯「湯の鶴温泉」の市営温泉センターを、観光客や地域住民の交流拠点としてリニューアル

- 水俣病被害者を含む身体に障がいのある方でも快適に使用できるデザイン
- 自然エネルギーを利用し、緑を増やす
- 公共交通機関によるアクセスの向上 等



水俣病資料館リニューアル

水俣病や水俣の環境再生に関する情報発信と交流の拠点である水俣病資料館をリニューアル

- 外交会議で内外の注目を集めた水俣病語り部が講話を行うスペースを拡充（高断熱や自然エネルギー活用等により環境性能や快適さに配慮） 等



環境首都水俣のブランド化

水俣条約の早期発効により、環境首都水俣のブランド化を促進

国内外から水俣へ多数の来客を呼び込み地域経済の活性化、雇用創出